指定ごみ袋は延期を！

日本共産党

市民の納得と合意が最優先です



千葉県習志野市のごみ集積所。矢印は習志野市の指定ごみ袋。それ以外は、「透明もしくは半透明の袋」というルールを守れば、市民が自分で選び、購入しやすい安価なごみ袋で家庭ごみを集積所へ出すことができ、市もきちんと回収しています。

「指定袋だけで解決できない」「今でも、広義の意味では指定袋」担当課答弁

昨年のパブリックコメント（市民からの意見募集）に続き、年明けの説明会でも疑問、異論、反論が数多く聞かれた指定ごみ袋の導入。

いっぽう担当課は、党市議団の質問に「科学的検証が必要。指定袋の導入で（減量・資源化）すべてが解決できない」、「対話を重ね、目的を達成したい」と答弁。さらに、現時点でも市民へ使用をお願いしている透明もしくは半透明のごみ袋について、「今でも、広義の意味では指定袋」と回答しています。来年４月以降、指定ごみ袋以外は回収しないという強権を発動し、無理やり押し付けようとする市長の姿勢は許されません。

ごみ行政は、市民の納得と合意に基づく協力・協働なくして、減量・資源化、CO2削減は前進しません。指定ごみ袋導入の前に、家庭ごみの成分調査や分別・資源化の注意点等の徹底こそ、いま市がやるべき仕事ではないでしょうか。

2021年度予算　新型コロナ対策、いのちと暮らしを守る提案

711億円…コロナ禍における当初予算は、過去最大規模となった流山市。しかし、国・県・市の支出合計でも新型コロナ関連経費はわずか2%です。さらに、感染対策として創設した制度を打ち切る一方、従来型の大型開発や観光事業などへ予算配分が優先されています。また、指定ごみ袋の導入や市有地活用をめぐり、政策判断の不透明さなどから、党派を超えて説明責任を求める意見が相次ぎました。

市議団は、「民間バスの便数が減って大変」、「学校現場での暴力的な指導をなくしてほしい」、「地域経済を守ってほしい」などの要望を届け、感染対策の拡充と、いのち・暮らしを守る提案に力を尽くしました。

介護保険料値上げ

制度開始から21年目を迎える新年度。介護保険料は、平均で年間4900円も値上げされます。高齢者の医療費窓口負担の大幅引き上げも議論されており、影響はより深刻です。党市議団は、保険料値上げを含む条例改正に反対しました。

政治を前へ、市民との運動実る

新年度予算には、市民運動も実りました。大学生らの修学を応援する「学生応援給付金」は新年度継続されるとともに、市独自の奨学金は看護学生枠が拡大され、介護福祉士を目指す学生への奨学金が創設されました。

それ以外にも、保育士の負担軽減を図る職員配置への補助、障がい児発達支援センター職員の処遇改善、困窮世帯学習支援の対象拡充、高齢者施設職員PCR検査などが盛り込まれました。



会　派	日本共産党				流政会									自由民主党				公明党				市民クラブ			新生令和				
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾　紳一郎	高橋　光	植田　和子	小田桐　仙	坂巻　儀一	渡辺　仁二	野田　宏規	近藤　美保	大塚　洋一	石原　修治	笠原　久恵	森　亮二	青野　直	海老原功一	加藤　啓子	中村　彰男	中川　弘	斉藤　真理	岡　明彦	戸辺　滋	野村　誠	楠山　栄子	西尾　段	森田　洋一	藤井　俊行	菅野　浩考	大野　富生	阿部　治正
令和３年度一般会計予算	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
新型コロナワクチン接種について適切な措置を求める附帯決議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
介護保険料値上げの条例改正	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
高齢者医療費の窓口負担２割引き上げに関する意見書	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○

流山市加4-1688　TEL／FAX 04（7157）6140　メールアドレス　giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ　http://www.nagareyama-jcp.jp/　流山市議会事務局　平和台1−1−1　TEL 04（7150）6099

ご意見・ご要望をお寄せください

新型コロナウイルス

「第4波」に備え、検査・医療・補償を

党市議団は、国会議員団や県議団とも共同し、各省庁や千葉県、そして市へも要請を重ね、繁華街でのモニタリング、変異株検査等がスタートしています。さらに拡充するため、全力を尽くします。



4月6日、13回目となる申し入れを行う党市議団
（右から、高橋あきら、植田和子、小田桐たかし、いぬい紳一郎各市議）

保健所増設を提案

「人口20万人になったのに…」、「野田、柏、松戸にはあるのに…」と保健所の市内設置を求める市民の声に基づき、党市議団は提案しました。

ワクチン接種いつから

千葉県から流山市にワクチンが届けられる予定は４月12日以降。大幅なずれ込みです。「第４波」が迫る中、優先接種者である医療従事者、重症化リスクが高い高齢者等にすぐに届かないとすれば、国・県・市の責任であり、積極的な取り組み姿勢が問われています。

南流山中学校の移転　より良い教育環境の整備に全力を

私立中学と公立中学が隣接？

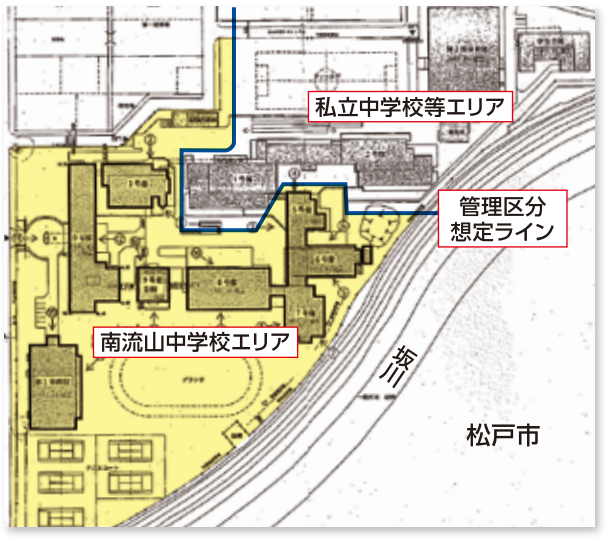
教育効果・影響は？

公立中学の隣接地（市有地）には、私立中学が…。しかし、少人数学級で、なおかつ資金力を活かした学力やスポーツ、最寄駅からのバス通学など、公立中学との「格差」と「競争」が懸念されます。

不透明な土地利用に疑問

私立中学といっても、市有地は売買交渉もせず「貸出」。南流山中学校の使用場所の決定前に、特定事業者との協議入りを市長が表明するなど不透明さや疑問は解消されていません。

児童数の大幅増により、移転となる南流山中学校。党市議団は、6年後には42学級を超える超過大規模校となる傾向を指摘し、授業時間を確保するための屋根付きプールの設置や増築校舎用地の確保、自転車通学の距離を学校から1.5㌔とするための駐輪場整備を提起しました。



市議会 ねほり はほり

ワクチン接種決議 否決

「安全性及び有効性、副反応と予防効果などの情報の公表」、「副反応などの相談窓口の設置や早期受診の確保」などを求める附帯決議案（日本共産党提案）は否決に。市民の複雑な思いを敏感にキャッチし、施策に反映できるかどうか、議会・議員の姿勢が問われています。

「再審法」改正求める陳情 全会一致で採択

市内でも、過去発生した『冤罪』。重大な人権侵害にとどまらず、全ての情報開示にも、裁判のやり直しにも多くの支障があり、ルールもない日本の司法制度は世界的に異質です。市議会に提出された陳情をめぐり、冤罪はあってはならないことで一致。陳情が採択され、政府及び国会への意見書も全会一致で可決されました。

身近な要求実現



横断歩道・右折レーンの表示塗りなおし（国道6号）
高橋あきら



念願の歩道の路面　全面改修（江戸川台駅東口）
植田和子



通学路の安全対策（おおぐろの森小学校）
小田桐たかし



和田堀に新しい樋管
三輪野山治水対策すすむ
いぬい紳一郎